

被爆 80 周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に関する陳情書

令和 7 年 6 月 6 日

長崎市議会議長
岩永 敏博 様

陳情人

- ・ 住 所 〒852-8034
長崎県長崎市城栄町 35-10
福田ビル 201
- ・ 氏 名 幸福実現党 長崎県本部
代 表 才田 明

被爆 80 周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に関する陳情書

1 陳情の趣旨

本年 5 月 15 日、広島市は 8 月 6 日に広島で開催される平和祈念式典について、これまで案内の通知対象外としていた台湾（中華民国）に対し、案内状を送る方針を決定しました。

当初、広島市は、台湾が国連に代表部を持たず、日本と外交関係もないため、通知対象外としていました。しかし、人類の共存と繁栄を願う「ヒロシマの心」を伝えるという趣旨に照らし、「除外する理由はない」と判断しました。台北駐大阪経済文化弁事処（大阪市）に直接確認したところ、台湾側が出席の意向を示したため、案内状を送付することとなりました。

こうした広島市の方針に対し、台湾外交部（外務省）の蕭光偉（しょうこうい）報道官は「喜ばしく思う」と語り、台湾は責任ある平和を愛する国際社会の一員として、今後も理念の近いパートナーと協力し、地域の平和と安定、繁栄を守る決意は変わらないとする立場を示しました。

一方、長崎市長は 5 月 16 日の市長記者会見で台湾は招待や案内の「対象にならない」と述べ、「今後、いろいろな状況を見ながら考えていきたい」と表明するにとどめました。こうした方針に対し、蕭光偉報道官は「遺憾だ」との見解を表明しています。

第二次大戦下において、20 万人を超える台湾人が日本人として出征し、約 3 万人が戦死したとされています。また、当時の台湾では、多くの優秀な学生が日本の大学で学んでおり、長崎医科大学（現在の長崎大学医学部）では同窓生らの調査で 18 人の台湾人が被爆死したことが判明しています。加えて、厚生労働省も台湾の在外被爆者の存在を認めています。

本件に関し、当団体が台北駐福岡経済文化弁事処の陳処長に確認したところ、「こうした歴史を踏まえ出席が叶うのならば、被爆した方々と世界平和の為に祈りを捧げたいが、現時点で長崎市側からの出席意向確認などは行われていない」との回答がありました。

前述のとおり、先の大戦で日本兵として多くの台湾人が戦死しており、さらに被爆死した方々、被爆した方々も多数確認されています。被爆 80 年という節目の年にあたり、台湾に祈念式典にご出席いただくことが、「国や人種を超え、被爆者の慰霊と世界の恒久平和の実現を祈る」という式典本来の趣旨に最も適うものであると考えます。

長崎市議会におかれましては「最後の被爆地」として世界平和を国内外に発信するためにも、長崎市長に対し、台湾への式典出席の招待等を要請することを強く求めるものです。

2 陳情項目

- ・被爆 80 周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に台湾を招待あるいは出席案内するよう長崎市長に要請すること